

令和元年度「日本水準原点」一般公開実施報告

国土地理院関東地方測量部では、公益社団法人日本測量協会と協力し「測量の日」の記念行事として、わが国の土地の高さの基準となっている「日本水準原点」（明治24年設置）を以下のとおり公開しました。

日 時：令和元年5月22日（水） 午前10 時～午後4 時

場 所：東京都千代田区永田町 1-1-2 憲政記念館構内

来場者：約860人

公開状況：

当日は、水準原点を収容する建物（標庫）の開放、水準原点設置当時の周辺写真、位置図などのパネルの展示、レベルの望遠鏡による水晶目盛板の視準体験を行いました。さらに、ミニ講座を4 回開催し、高さの測量の歴史と水準原点標庫の文化財としての見どころなどについて解説しました。

会場には、測量・地図愛好家のほか、授業の一環として見学に来た地理学専攻の大学生や、測量の経験があるベテランの方、修学旅行生や国会議事堂見学ツアーの後に来られた方など、平日にもかかわらず多くの方に来場いただきました。

水準原点の値が過去に改定された経緯やその観測方法の説明に対して、熱心に耳を傾ける見学者の姿から、水準原点の歴史について関心の高さがうかがえました。また、水準原点の水晶目盛板や後方から見える台石・支柱などはめったに見ることができないため、写真を撮っている方も多く見受けられました。

さらに今回は、昨年3月に水準原点の近傍に設置して観測を開始した電子基準点「東京千代田」も併せて紹介しました。電子基準点の役割や重要性を説明するとともに、衛星測位により水準原点を監視する役割についても説明しました。



日本水準原点の説明



ミニ講座の様子